

Akashi College		Year	2019		Course Title	Off-Campus Practical Training in Architecture
Course Information						
Course Code	0088			Course Category	Specialized / Elective	
Class Format	Practical training			Credits	School Credit: 2	
Department	Architecture			Student Grade	4th	
Term	Year-round			Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	なし					
Instructor	All faculty of the department					
Course Objectives						
主として建築関連の一般企業または官公庁、NPOなどでの技術体験を通じて、実践的技術感覚を会得すること、社会の中での技術者としてのあり方を学ぶ。そして、技術体験で得た成果を学習に活かすことが本科目の狙いである。目標は次の2点である。 1) 実習先の企業等で協動的に活動し、実際の技術活動の一部を体験すること 2) 体験的に学んだ事柄を視聴覚教材などを用いて、効果的に報告出来ること						
Rubric						
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		実習先の企業等で技術活動の一部を協動的に行うことができる	実習先の企業等で技術活動の一部を行うことができる		実習先の企業等で技術活動の一部を行うことができない	
評価項目2		体験的に学んだ事柄を視聴覚教材などを用いて、効果的に報告出来ること	体験的に学んだ事柄を視聴覚教材などを用いて報告出来ること		体験的に学んだ事柄を視聴覚教材などを用いて報告出来ない	
Assigned Department Objectives						
学習・教育到達度目標 (E) 学習・教育到達度目標 (G)						
Teaching Method						
Outline	主として建築関連の一般企業または官公庁、大学、NPOなどでの技術体験を通じて、社会の中での技術者としてのあり方を学ぶ。また、体験で得た成果を学習に活かすことが本科目の狙いである。本科目の学習・教育目標は次の3点である。(1) 実習先の企業等での活動を体験すること(2) 配属された職場で協調して活動できること(3) 体験的に学んだ事柄をスライドなどを用いて、効果的に報告出来ること					
Style	建築関連の一般企業または官公庁、大学、NPOなどに赴き、技術体験をする。体験的に学んだことをスライドなどを用いて、報告する。					
Notice	建築インターンシップ要領を熟読し、4年生担任と緊密に連絡を取り合うこと。期間中は、積極的に技術等の習得に努めるとともに、服装、言葉使い等、建築インターンシップ生に相応しいものであること。実習は実働10日以上、及び80時間以上とする。ただし、インターンシップの事前事後の準備等にかかる時間を最大15時間までを実習時間に含めることができる。					
Course Plan						
			Theme	Goals		
1st Semester r	1st Quarter	1st	ガイダンス(履修上の注意・インターンシップ先でのマナーなどの注意点)	インターンシップの進め方について理解できる		
		2nd	建築関連の一般企業または官公庁、大学、NPOなどでの技術体験	実習先の企業等で実習をおこなうことができる		
		3rd	建築関連の一般企業または官公庁、大学、NPOなどでの技術体験	実習先の企業等で実習をおこなうことができる		
		4th	建築関連の一般企業または官公庁、大学、NPOなどでの技術体験	実習先の企業等で実習をおこなうことができる		
		5th	建築関連の一般企業または官公庁、大学、NPOなどでの技術体験	実習先の企業等で実習をおこなうことができる		
		6th	建築関連の一般企業または官公庁、大学、NPOなどでの技術体験	実習先の企業等で実習をおこなうことができる		
		7th	建築関連の一般企業または官公庁、大学、NPOなどでの技術体験	実習先の企業等で実習をおこなうことができる		
		8th	建築関連の一般企業または官公庁、大学、NPOなどでの技術体験	実習先の企業等で実習をおこなうことができる		
	2nd Quarter	9th	建築関連の一般企業または官公庁、大学、NPOなどでの技術体験	実習先の企業等で実習をおこなうことができる		
		10th	建築関連の一般企業または官公庁、大学、NPOなどでの技術体験	実習先の企業等で実習をおこなうことができる		
		11th	建築関連の一般企業または官公庁、大学、NPOなどでの技術体験	実習先の企業等で実習をおこなうことができる		
		12th	建築関連の一般企業または官公庁、大学、NPOなどでの技術体験	実習先の企業等で実習をおこなうことができる		
		13th	建築関連の一般企業または官公庁、大学、NPOなどでの技術体験	実習先の企業等で実習をおこなうことができる		
		14th	建築関連の一般企業または官公庁、大学、NPOなどでの技術体験	実習先の企業等で実習をおこなうことができる		
		15th	建築関連の一般企業または官公庁、大学、NPOなどでの技術体験	実習先の企業等で実習をおこなうことができる		
		16th	期末試験実施せず			
2nd Semester r	3rd Quarter	1st	建築関連の一般企業または官公庁、大学、NPOなどでの技術体験	実習先の企業等で実習をおこなうことができる		
		2nd	建築関連の一般企業または官公庁、大学、NPOなどでの技術体験	実習先の企業等で実習をおこなうことができる		

		3rd	建築関連の一般企業または官公庁、大学、NPOなどでの技術体験	実習先の企業等で実習をおこなうことができる
		4th	建築関連の一般企業または官公庁、大学、NPOなどでの技術体験	実習先の企業等で実習をおこなうことができる
		5th	建築関連の一般企業または官公庁、大学、NPOなどでの技術体験	実習先の企業等で実習をおこなうことができる
		6th	建築関連の一般企業または官公庁、大学、NPOなどでの技術体験	実習先の企業等で実習をおこなうことができる
		7th	建築関連の一般企業または官公庁、大学、NPOなどでの技術体験	実習先の企業等で実習をおこなうことができる
		8th	建築関連の一般企業または官公庁、大学、NPOなどでの技術体験	実習先の企業等で実習をおこなうことができる
	4th Quarter	9th	建築関連の一般企業または官公庁、大学、NPOなどでの技術体験	実習先の企業等で実習をおこなうことができる
		10th	建築関連の一般企業または官公庁、大学、NPOなどでの技術体験	実習先の企業等で実習をおこなうことができる
		11th	建築関連の一般企業または官公庁、大学、NPOなどでの技術体験	実習先の企業等で実習をおこなうことができる
		12th	建築関連の一般企業または官公庁、大学、NPOなどでの技術体験	実習先の企業等で実習をおこなうことができる
		13th	建築関連の一般企業または官公庁、大学、NPOなどでの技術体験	実習先の企業等で実習をおこなうことができる
		14th	建築インターンシップ報告会の準備	建築インターンシップ報告会のためのスライドを作成することができる
		15th	建築インターンシップ報告会（後期の適当な時期に行う）	建築インターンシップ報告を行うことができる
		16th	期末試験実施せず	

Evaluation Method and Weight (%)

	報告書・日誌・感想文	証明書	報告会	Total
Subtotal	30	30	40	100
基礎的能力	30	0	0	30
専門的能力	0	30	0	30
分野横断的能力	0	0	40	40